

みんなの意見（まとめ）

【質問】 河辺駅周辺に作るこどもの居場所にあったらうれしいものは？

【回答】

- 調べものができる
- なかまと一緒に話しができるところ
- 車いすでもいける
- 静かにひとりでぼっとできる空間
- 対話のできる大人がいる
- 理解のあるスタッフ、ケースワーカー、プレイワーカーを常駐させる
- こども、若者の話を聞いている大人がいる
- 人と出会って何か新しいことを自分たちでできる町の部活動
- ニーズは個々あるのでまず何をする場なのかコンセプトが必要
- おしゃべりや簡単なことができるスペースコーナーがあると楽しみが広がる
- 気軽に話しができる大人の管理者が常にいる
- 中高生は将来についてアドバイスを受けられる大人のアドバイザーがいる
と将来の選択肢が広がる※相談コーナー
- 河辺駅に行くための交通費を出してほしい。大人の送り迎えだと若者の
居場所とはいえない
- Corder Dojo 青梅と手を組んでIT人材育成する場
- ボードゲームファシリテーターがいる日がある。スペースでゲーム会ができる。
そこで育った人がFaとしてゲーム会の主催者になる。
- 誰が来るのかが整理されると対応策がわかるのでは
→家に居られない居たくないこども
- 家が狭いので多くの友達と集える場所（大きいスペース）
大きくOK
- 家では一人で学習できるスペースのないこども
- 家族間では話せないことを共に語り合える
- 中学生、高校生、18歳以上とが分かれて過ごせる部屋とごちゃまぜの部屋
- こどもの様々な行いを覚悟を持って口出しせず見守るかつ安全を守ることが
できる大人。

- バンドルーム(防音室)は必須
- 年に1回くらいこどもたちの実行委員会によるフェスティバル開催
- 土・日・祝日開館
- 一度閉館しても良いので22時まで利用できる
- 押し入れのようなスペース(扉はないが1人になれるところ)
- 高校生以上の若者で運営委員会を作る
- 利用料は無料
- 材料費などは補助ありで100円くらいの自己負担あってもいい
- 児童福祉の専門家が管理者となり、相談支援の研修を受けた大人がスタッフとして常駐することで安心して利用できる
- 大型遊戯施設の中に児童センターを設ける
- 個室でwifi、パソコンなどがありプライバシーが守れる場所(ネットカフェでこどもが予約すれば誰でも使える)
- 管理者が福祉の専門家であり、こどもが心の声を言える場所
- 将来のキャリアについて考えたり聞けたり相談できる場所
- 青梅にある企業と交流できる。キャリア観の醸成と地元人財の発掘確保。
将来戻りたい働きたいと思える関係性づくり。
- 泊まれる場所。親と離れてゆっくり一人になれる空間
- チームラボみたいなテクノロジーに触れられる場所
- 利用者で運営委員会をつくる
- wifi
- 飲み物や軽食の自動販売機
- 防音
- のんびりまったりゆっくりできる空間
- 楽器とかの音楽やれる部屋(防音、教えてくれる人)
- 話を聞いてくれるいつもいる大人がいて雑談できる場
- お腹がすいたら簡単なものを食べられる。あったかい飲み物